

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新十津川町	代表者名	熊田 義信
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0125-76-2131
担当者役職	主査	担当者氏名	石丸 拓憲
		連絡先E-mail	
住所	0731103 北海道新十津川町字中央301番地1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	望月 昌樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	各課から職員が参加し、町のデジタル化計画策定のための検討委員会を行うに当たり、どのように進めるべきが明確化されたため。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月26日	13時30分	15時00分		90
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	
	デジタル化技術を用いた町行政の在り方について、各課から職員が参加し検討委員会を行うに当たって、次の課題を感じている。 ・委員ごとにITリテラシーが異なる問題への対処 ・全ての委員に責任感を持って参加して貰うための意識付け	
	支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	
	検討委員会が円滑に進むこと。	
	アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	
	職員の意識付けをするための手法、意見の集約の仕方	
	支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	
	現行業務中心(既にやっていること)のデジタル化を中心としたアプローチから、課題(今発生している問題)中心のアプローチへ考え方が変わり、何故デジタル化するのかという視点が明確になった。	
	具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	無し

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	行政事務のデジタル化推進計画が、組織を横断した検討メンバーにより策定されること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

